

第65回小倉お城まつりにて 北九小粋協同組合がPR出店しました！

去る10月14日（土）、15日（日）に北九州市において第65回小倉お城まつりが開催され、北九小粋協同組合も同イベントへPR出店を行いました。



組合員の出店の様子

小倉城歴史の道では、組合員がマルシェ出店をし、イベントに訪れたお客様に対して商品紹介や販売を行いました。当日は、他団体のイベントも実施されていたこともあり、多くのお客様にご来訪いただきました。

出店ブースの隣では、畳と緋（ひ）毛氈（もうせん）席、加えて野点（のだて）傘や茶道具一式を揃え、組合員のつる平のお菓子と辻利茶舗のお抹茶をセットにして呈茶（ていちゃ）しました。着物を着ての呈茶であったため、国内外様々な人が足をとめてお抹茶を、あるいはお点前（てまえ）の写真撮影などを楽しんでいました。



辻史郎理事長による呈茶実演

小倉城では、小笠原藩15万石に因んで餅米を1石5斗（225kg）使って大鏡餅が毎年作られ

ており、お正月のおしるこ会でお餅が振舞われています。小倉城といえば餅の振舞いという文化が小倉城再建築城（昭和34年）以降風物詩的、伝統的に承継されていることから、当組合もその文化継承の取り組みに賛同して、小倉城天守閣広場において餅まきを行いました。

餅まきは両日2回の合計4回行い、準備された7,000個の紅白餅やお菓子などが宙を舞いました。大の大人たちも両手を挙げて「こっち！こっち！」と必死にアピールする姿や、ステージから右に左に手前に奥にと懸命に撒き続ける撒き手など、会場は賑やかな雰囲気になりました。取れなかった方やお年寄りには別途配布、こどもエリアの設置など多様性や安全性を意識した令和の餅まきとなりました。



餅まき（小倉城天守閣広場）の様子

北九州の伝統や文化を国内外に発信する“北九小粋”。この事業を通じて、北九小粋の認知度向上と参加組合員の知名度向上に繋げることが出来ました。